

また蒲生田の海に帰ってきて 椿町中学校の生徒が子ガメを放流



総合的な学習の時間を利用して自然環境保護活動に取り組んでいる椿町中学校の全校生徒24人が、6月28日、29日に同海岸で保護した203個の卵のうち、人工ふ化に成功した子ガメ138匹を蒲生田の海に放流しました。子ガメは、校庭の一角のふ化場で2カ月間かけて保護され、8月29日朝にふ化が確認されました。

8月30日、全校生徒が波打ち際に一列に並び、バケツから子ガメを1匹ずつ取り出して放流しました。放流された子ガメはヒレを力強く動かしながら海に向かって進み始めました。藤目龍之介さん（1年）は、「また蒲生田の海に帰ってきてほしいです。」と話していました。

市内沿岸部の海拔を調査 津波避難計画の見直しに生かす



平成24年度末の策定を目標に進めている新たな「津波避難計画」の見直しに役立てるため、市内9地区で海拔調査を実施することになり、8月29日、福井町大原で初めての測量が行われました。

海拔調査する地域は、椿、福井、橘、見能林、富岡、那賀川の沿岸地域と、津波遡上の可能性がある中野島、宝田、羽ノ浦の9地域で、調査箇所は最大約250カ所。沿岸地域住民とのワークショップで出された要望をもとに海拔調査を行います。

なお、測量地点には、海拔と海からの最短距離を示した看板を設置する予定です。

陸上自衛隊徳島駐屯地で 阿南市総合防災訓練を実施



室戸沖南海トラフを震源とするマグニチュード8.6の地震が発生したことを想定した市の総合防災訓練が、8月26日、陸上自衛隊徳島駐屯地で行われました。

訓練には那賀川町の自主防災組織や消防団、阿南市医師会など約600人が参加し、初期消火訓練や負傷者救出・搬送訓練などが行われたほか、阿南市社会福祉協議会による災害ボランティアセンター受付・対応訓練や阿南消防アマチュア無線クラブによる伝搬テストが行われました。

訓練に参加した男性は、「東日本大震災以降、助け合いの精神が見直されました。こうした訓練を通じて、地域のつながりを深めていきたいです。」と話していました。

小さなまちの大きなチャレンジ！ 日本女性会議実行委員会を設立



平成25年10月11日(金)から3日間、阿南市で開催される日本女性会議の実行委員会設立総会が、8月21日、文化会館で開催されました。大会の名称は「日本女性会議(男女共同参画)2013あなん」。大会長の岩浅市長は、「人口20万人以上の大都市で開催されてきた日本女性会議が阿南市で開催されることは意義深く、10万人前後の自治体に可能性と夢を与えます。小さなまちの大きなチャレンジ。一丸となって成功に導いていきたい。」とあいさつ。実行委員長には渡辺純子さん(見能林町)が選出されました。

実行委員会では、10月26日から仙台市で開催される第29回日本女性会議等でPR活動を行うことにしています。

阿南市の3図書館 1人当たりの貸出冊数 4年連続四国一



阿南市の3図書館の平成23年度における市民1人当たりの貸出冊数が9.45冊で、四国38市の市立図書館の中でもっとも多いことが、四国公共図書館協議会の統計データでわかりました。これで阿南市は、4年連続四国一となりました。

市では、平成20年3月に阿南・那賀川、羽ノ浦図書館のシステムを統合し、効率的な蔵書管理や貸出・返却サービスの向上など、3館一体となった運営に努めてきました。利用者から寄せられるリクエストを選書に生かし、市民のニーズに合った図書館運営が結果に結びついているのではないかと分析しています。

サービス利用以来 初めて緊急速報メールを配信



8月31日の夜、フィリピン東部沖で発生した地震の影響で、徳島県沿岸部に津波注意報が発表されたことを受け、市は緊急速報メールを配信して、沿岸部や河口部に近づかないよう注意を呼びかけました。緊急速報メールの配信は、市が携帯3社(NTTドコモ、au、ソフトバンク)のサービスを利用し始めて以来、初めてのことです。

市では、10月15日(月)午後零時30分にテスト配信を行うことにしていますので、受信確認をしてください。

なお、緊急速報メール対応機種でない場合や、メール設定で受信拒否にしている場合、電源をOFFにしている場合は受信されませんのでご注意ください。

映画「モンゴル野球青春記」 阿南で撮影が行われる



映画「モンゴル野球青春記」の阿南ロケが、8月31日から9月5日まで行われました。JAアグリあなんスタジアムで行われた撮影では、平成10年の「第3回アジアAAA野球選手権大会」でモンゴルが日本と対戦したシーンが再現されました。3日間でのべ1,000人近いエキストラの参加があり、撮影も順調に行われました。

選手役として出演した西村晴夫さん(32歳・新野町)は、「プレッシャーがかかりましたが、楽しむことができました。どのように編集されるのか、映画の完成が楽しみです。」と話していました。

国文祭で和の音色を堪能 阿南市から全国へ！邦楽の魅力を発信



第27回国民文化祭阿南市実行委員会による「全国邦楽合奏フェスティバル」が、9月14日から3日間、夢ホールで開催されました。

箏奏者・野坂操壽さんと協演した阿南中学校箏曲部3年の岡澤璃子さん(富岡町)は、「一流の演奏家との協演は初めてで緊張しましたが、満足のいく演奏ができ、いい思い出になりました」。実行委員長の藤本 玲さんは、「阿南中学校の活躍とこれまで阿南で積み上げてきた邦楽活動が実り、素晴らしいフェスティバルになりました。今後は、協会の活動を通じて邦楽の魅力を全国にPRしていきたいです。」と話していました。